

原油ETF証拠金取引

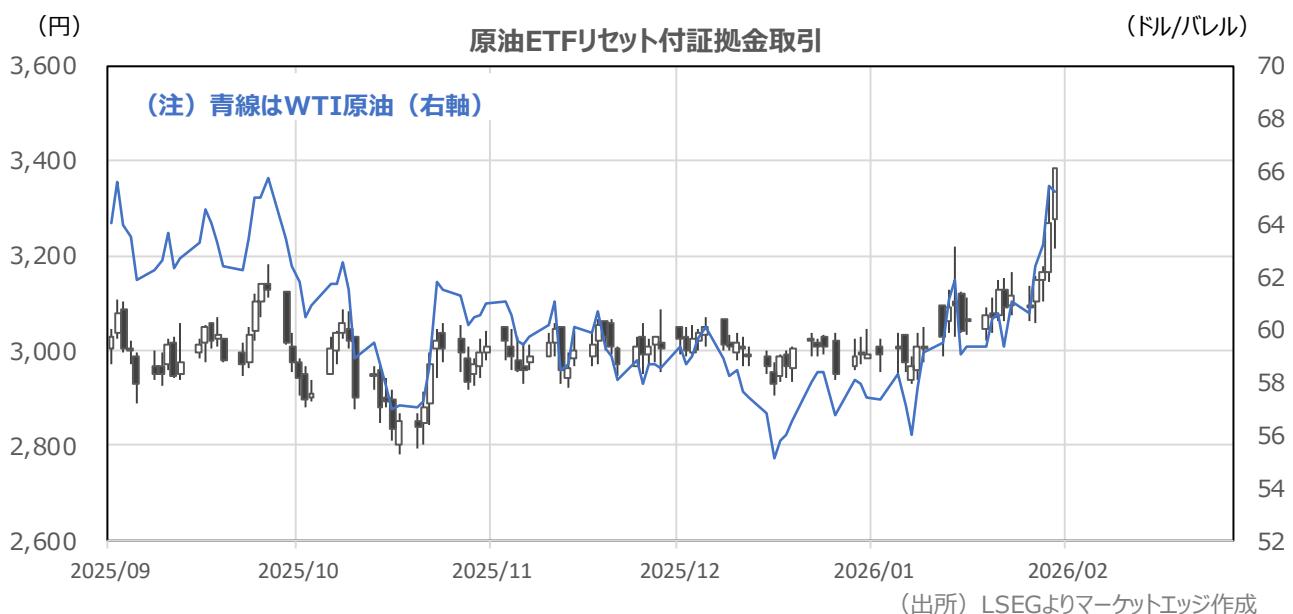
WEEKLY REPORT

2026/02/02号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン情勢警戒で戻り高値更新

NY原油先物相場は、1バレル=65ドル台まで値上がりする展開となった。前週に続いてイラン情勢を巡る緊張の高まりが、原油相場を押し上げている。1月29日高値は66.48ドルに達し、2025年8月6日以来の高値を更新した。トランプ米大統領はイランに対して核開発制限を巡る交渉に応じるように求め、拒否すれば「迅速かつ暴力的」な手段をとると警告した。原子力空母「エイブラハム・リンカーン」を中心とした艦隊を中東に派遣している。また、寒波によって米国内の原油生産量が落ち込んだこと、火災で生産を停止していたカザフスタンのテンギズ油田の生産再開のペースの鈍さもポジティブ。

イラン情勢が引き続き中心テーマとなっている。トランプ米大統領は1月3日にベネズエラに対する攻撃に踏み切った直後だけに、イランに対しても同様の対応に踏み切るリスクが警戒されている。イラン政府は、攻撃が行われれば中東の米軍基地などに報復攻撃を行うと警告している。このため、期近限月を中心にイラン産原油の供給リスク・プレミアムを加算する動きが優勢になった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月23日時点）は、原油が前週比230万バレル減、ガソリンが22万バレル増、石油精製品が33万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

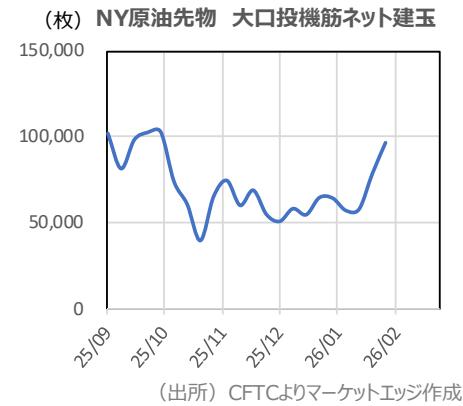
【展望】

イラン情勢が注目され、売買が交錯する展開に

イラン情勢の緊迫化を受けて、不安定な値動きが続きやすい。前週は米国とイランが軍事衝突するリスクを織り込む動きが優勢になり、65ドルの節目を上抜く展開になった。このため、さらにイラン情勢の緊張を高めるような動きがみられるかが焦点になる。仮にイラン核協議再開の見通しが立たず、米国が軍事作戦に踏み切るとの見方が強まるともう一段階の上昇を試す可能性が高まる。一方、現時点ではイラン産原油の供給に何か大きな混乱が生じているわけではない。このため、イラン情勢が膠着化すると、リスク・プレミアムの剥落の形で65ドルを割り込む展開になろう。

イラン情勢の先行き不透明感は強い。トランプ米大統領は1月30日、「合意が成立することを期待している」と楽観的な見通しを示している。一方で、外交交渉には期限があるとして、交渉がまとまらない場合には軍事行動に踏み切る可能性を警告している。イラン政府は、米国との交渉再開には前向きな姿勢を見せているが、米国が望むウラン濃縮活動の停止には否定的な立場を崩していない。米国とイランの動向に一喜一憂する展開が続こう。

ただし、イラン産原油に大規模な供給障害が発生しないのであれば、従来と同様に地政学リスク起因の上昇は一時的な動きにとどまる見通しだ。2025年に続いて26年も大規模な供給過剰が発生する見通しに変化は生じていない。また、石油輸出国機構（OPEC）プラスは十分な増産余力を有している。ダウントレンドの中で短期上昇の有無を探る展開が続く見通しであり、中期目線では地政学リスクの上昇は高値で売りポジションを構築する好機との評価が維持されよう。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

